

審査基準

令和6年12月12日作成

法令名：風俗営業等適正化法
根拠条項：第3条第1項（第4条第3項の規定の適用がある場合に限る。）
処分の概要：風俗営業の許可（第4条第3項の規定の適用がある場合に限る。）
原権者（委任先）：東京都公安委員会
法令の定め： <ul style="list-style-type: none">○ 風俗営業等適正化法<ul style="list-style-type: none">第4条（許可の基準）第5条第1項（許可申請の手続）○ 風俗営業等適正化法施行令<ul style="list-style-type: none">第7条（法第4条第3項の政令で定める事由）○ 風俗営業等適正化法に基づく許可申請書添付書類等内閣府令<ul style="list-style-type: none">第1条（風俗営業の許可申請書の添付書類）○ 風俗営業等適正化法施行規則<ul style="list-style-type: none">第1条（許可申請書の提出）第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）第6条の2（心身の故障により風俗営業の業務を適正に実施することができない者）第7条（構造及び設備の技術上の基準）第8条（著しく射幸心をそそるおそれのある遊技機の基準）第9条（風俗営業の許可申請の手続）
審査基準： <ul style="list-style-type: none">① 風俗営業等適正化法第4条第1項第3号 この規定に該当する者は、犯歴及びその内容、暴力団等との関係等から判断して集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがあると認められる者をいう。 注1 暴力団とは、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に掲げるものをいう。 注2 暴力的不法行為等とは、風俗営業等適正化法施行規則第6条に掲げるものをいう。② 風俗営業等適正化法第4条第2項第3号 この規定に該当する場合は、管理者となるべき者を全く選任していない場合、管理者として選任した者が法の定める要件を満たしていない場合、選任しようとする者が当該営業所に勤務することが到底期待できない場合等である。
標準処理期間：申請時期等により処理に要する期間が変動し、個別具体的な処理を要するため、標準処理期間を定めることはできないが、60日以内を目安とする（行政庁の休日は含まない。）。
申請先：営業所を管轄する警察署の生活安全課
問合せ先：同上
備考：法令の規定の解釈については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等の解釈運用基準」（令和4年4月1日警察庁生活安全局）第12を参照すること。